

中央公民館だより

令和元年 5月 1日発行

三原市中央公民館

三原市円一町 2丁目 3番 1号

TEL 0848-64-2137 FAX 64-0137

新年度を迎えて

生涯学習課長兼中央公民館長 岡本 克則

生涯学習課長兼中央公民館長の岡本でございます。4月1日付けの人事異動により教育振興課から異動して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、市役所の組織変更に伴い、4月1日から生涯学習課は3係（企画振興係、学習施設係、管理運営係）から2係（企画振興係、学習施設係）に改変されました。コミセン・公民館等の生涯学習施設の担当は、引き続き学習施設係となりますので、よろしくお願いいたします。

さて、「生涯学習」とは？ このワード（ことば）について改めて思い見ますと、「生涯学習」とは、“生涯にわたって行う学習活動”といわれており、家庭を中心とした学習、学校に通い学習するもの、さらには地域社会でいろいろな学習機会に出会い行う学習など、さまざまな場面で学習の場があります。このように学習は、家庭・学校・地域社会、そのほか職場や文化活動、趣味などの中でも行われているものとなっています。

では、生涯学習はだれのために行うのか？

生涯学習は、一人ひとりが自らを深め豊かな人生を送るため、自ら進んで行うという側面があります。また、学習した成果を活かして次の活動につなげることにより、他の人々や地域などへ貢献できるという側面もあります。

個々の学びの機会の持続性はもちろんのこと、これからは一人ひとりの学習成果を地域で生かしていく社会づくりをすすめていくことも必要ではないかと考えています。それらを実現させるためのひとつとして、公民館・コミュニティセンターをこれまで以上に活用していく方策を考えていく必要があります。これらの施設が地域の拠点となり、引き続き、生涯学習の振興と、地域教育力の向上や地域づくりといった地域活性化の役割も果たしていきたいと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。



学習施設係 係長 山崎 雅樹

管理運営係から学習施設係にまいりました。市立図書館にコミセン・公民館等を加えた生涯学習施設の担当となり、これまでより多くの利用者、関係者のみなさまとお会いする機会も増えたため、毎日新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。みなさまが楽しく利用できる施設運営を目指しますので、よろしくお願いいたします。

生涯学習課

着任!!

職員紹介

(中央公民館関係)

学習施設係 主任 國貞 典子

管理運営係から学習施設係になりました。これまで図書館に関する業務を行っていました。

主にコミュニティセンター・公民館に関する業務を担当しています。初めての出会いに新鮮な毎日です。

様々なことを楽しみながら学び、皆様のお役に立てるよう努めます。よろしくお願いいたします。

企画振興係主任 土田高志

子育て支援課からまいりました。生涯学習課では、主に放課後子ども教室の運営を担当します。以前、生涯学習課の文化財係に在籍していたものの、新しい業務には慣れる間もなく、忙しく取り組んでいるところです。

仕事にも私生活にも日々の学びがあるものだと感じながら精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

学習施設係 主事 竹崎 萌圭

中央図書館からまいりました。生涯学習課は2年目になりますが、中央公民館の業務は初めてなので早く仕事に慣れていきたいです。

市民の皆様とも関わりながら仕事ができることを嬉しく思います。これから様々なことを学び、成長していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

主催講座に関するお知らせ

5月は、一斉に本館の主催講座が開講します。その内、下記の講座については、多少受入れ枠に余裕があります。受講を希望される方は、詳細を当館までお問い合わせください。

中央公民館

☆ホームステイの英会話（初級） ☆英会話入門（夜）ビギナー ☆英会話中級（夜）

☆TOMORROW 英会話 ☆ステップアップハングル ☆フランス語

☆はじめてのスペイン語 ☆エンジョイ ハワイアンキルト

☆家庭で楽しむスイーツ ☆たのしい多国籍料理

地域学習センター（さざなみ学校）

☆つまみ細工 ☆ヨガ・ニードラ



中公ロビーの展示ケースへの出品募集中

中央公民館の1階ロビーには、2台の展示用ケースが設置されています。次のように出展を通して生涯学習活動の支援を行いますので、希望される方はご連絡ください。

- 1 対象 生涯学習に関わるもので、個人、またはグループの活動の様子や成果を物語るもの（メッセージやお誘いのアピール等も添付可）
- 2 期間 1～2カ月間（施設可）
- 3 規格 （長さ180cm×高さ90cm×幅60cm、2段棚）×2台
- 4 受付 年間を通じて随時。問い合わせ・ご相談は、中央公民館へ（TEL0848-64-2137）



現在展示中の
『陶芸作家 稲留清彩 作陶展』
(4/24～6/12)

編集後記

「ツバメの子 宙返りを 覚えたり」今年も、ツバメが軒を勢いよく飛ばす季節になりました。私も春は恒例の自主学習と銘打って、各種講演会・イベントに参加し企画のヒント探しをします。第一弾は、昨今大ブレイクの俳人：夏井いつき先生の講演会に参加しました。今も松山市在住で、現在高視聴率の番組収録の為に、月に2回松山空港と羽田空港間を行き来されておられるそうです。松山市は正岡子規を輩出した町でもあり、市内の至る所に俳句ポストがあり町中が俳句の文化に包まれているそうです。もちろん、俳句ポストの選定委員もされておられるそうです。高校にも俳句部があり、小・中・高校生俳句大会も開催されるそうです。一つの文化で“町中が一つになれるって”なんと素晴らしい!!そこには継続される力と、見えない努力があるはず!!と感じ入りました。

第二弾は、私が高校生の頃から応援しているアーティスト“松任谷由美”さんのライブに、横浜アリーナまで行きました。彼女は今年デビューから47年目、ライブ活動45周年タイムマシンツアーで全国40ヶ所40公演をおこなっています。私が彼女を知ったのは、深夜のラジオ番組を聴いていて「ひこうき雲」という曲を聴いたのがきっかけでした。アルバム曲は、時代を写し出す楽曲が並び私はそこが入り口で様々な事に興味関心をいだききっかけになりました。ライブステージのプランもいつも独創的で斬新、ステージに本物の象に乗って現れたり、エンドステージをセンターステージにして脇にプールを設営しシンクロナイズドスイミングとコラボしたり空中ブランコとコラボしたりと、度肝を抜く演出です。しかしその陰に、シンガーソングライターであること、ライブを行う為の筋力や体力をキープする為の並々ならぬ努力があるはず。中央公民館で活動されている方々が、いつもお元気で生き生きとされているのもそういった日々の見えない努力のたまものであると、痛感した今年の“つばくらめ”の季節でした。